



令和8年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年8月7日

上場会社名 KLASS株式会社
コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年9月期第3四半期の連結業績（令和7年10月1日～令和8年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
8年9月期第3四半期	7,534	6.0	257	16.0	220	1.8	139	△7.0
7年9月期第3四半期	7,109	△0.2	222	197.5	216	185.5	149	322.3

（注）包括利益 8年9月期第3四半期 150百万円（△6.6％） 7年9月期第3四半期 161百万円（218.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年9月期第3四半期	26.76	—
7年9月期第3四半期	27.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
8年9月期第3四半期	9,533	3,176	33.3
7年9月期	9,779	3,066	31.4

（参考）自己資本 8年9月期第3四半期 3,176百万円 7年9月期 3,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
8年9月期	—	0.00	—		
8年9月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和8年9月期の連結業績予想（令和7年10月1日～令和8年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,000	15.0	380	42.0	370	47.6	235	36.0	43.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年9月期3Q	5,391,000株	7年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	8年9月期3Q	169,677株	7年9月期	201,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年9月期3Q	5,207,648株	7年9月期3Q	5,390,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大企業の設備投資や個人消費の拡大傾向が続き、景気は堅調に推移しましたが、令和8年3月以降の中東情勢悪化を受けた原油価格の高騰や原油由来商品の供給不安等が、当社の主たるマーケットである住宅関連市場での新設住宅着工戸数に影響した他、内装関連資材の値上がりとそれを踏まえた駆け込み需要の急増が、当社供給量とのミスマッチを引き起こすなど、不安定な経営環境となりました。

そうした経営環境の中、当四半期は、インダストリーセグメントの食品機器事業が好調に推移し、プロフェッショナルセグメント、コンシューマセグメント、ニュー・インダストリーセグメントは前年同期を上回る売上高となったものの、損益はやや低調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同期を上回る7,534百万円（前年同期比6.0%増）、一方損益面は、営業利益257百万円（同16.0%増）、経常利益220百万円（同1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円（同7.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、当四半期は、令和8年4月1日に発刊した総合カタログ(Vol.17)による売上・利益の拡大を狙いましたが、発刊時期に発生した中東情勢悪化の影響は大きく、一部商品では供給不安から大量の駆け込み受注が発生して当社供給が追いつかず、混乱回避のため一部商品の受注を一時的にストップしたほか、原油由来商品等の仕入れ価格急上昇によって、発刊したばかりのカタログ価格の見直しが必要になるなどの影響が生じました。その後順次出荷を再開し、また令和8年7月1日付で価格を見直すなど、推進体制を立て直しましたが、総合カタログ発刊効果は、第4四半期に持ち越すこととなりました。

畳事業は、当社の強みである畳店への提案営業（当社の畳製造装置を活用した経営と生産の近代化の「畳店経営の構造改革」提案）や、畳店向けの工具等のネット販売のほか、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）等の活用案件も復活しており、まだ黒字確保にはいたらないものの、売上は回復してきております。

ソリューション＆ネットワーク事業は、適正な事業規模の確保を目指して、引き続き見積・請求管理クラウドツールの契約者増、内装店・畳店向けのデジタルプリンターの販売等を推進しております。

その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は5,099百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失81百万円（前年同四半期は営業損失48百万円）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、棺用畳は大手葬儀場を含む複数の葬儀場の新規開拓、特殊機能畳は学童・デイサービス施設、スポーツ・フィットネス施設向け商品に加えて、長距離フェリー等の新たな需要の開拓に努めております。また、住宅向けの畳替え需要は緩やかな増加傾向を続けました。

一方、ソーラー・エネルギー事業と兵庫県佐用町に設置しているメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に進捗しました。

その結果、コンシューマセグメントの売上高は562百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益5百万円（同53.4%減）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、大企業の活発な設備投資のほか、中小企業の労働力不足に対応する省人化システム等、新たなニーズに対応しており、当第3四半期連結累計期間も好調に推移しております。当四半期は、大型機の出荷案件は減少しましたが、来期以降の出荷案件の受注活動が活発になってまいりました。

食品機器事業は、大手飲食チェーンのマルチディスペンサーの大量入替受注の出荷が当四半期も続き、当第3四半期連結累計期間の売上を大きく伸ばしました。

その結果、インダストリーセグメントの売上高は1,274百万円（前年同期比43.8%増）、営業利益262百万円（同54.6%増）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。前期に引き続き当第3四半期連結累計期間も好調に推移しておりますが、当四半期は、大型案件が少なくやや低調な推移となりました。

その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は597百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は54百万円（同33.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、9,533百万円となりました。資産のうち流動資産は、売上債権が49百万円減少、棚卸資産が84百万円減少、その他が97百万円減少したこと等により、232百万円の減少となりました。固定資産につきましては、投資その他の資産が53百万円増加しましたが、有形固定資産が61百万円減少したこと等により、13百万円の減少となりました。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ356百万円減少し、6,356百万円となりました。負債のうち流動負債は、短期借入金が255百万円増加しましたが、仕入債務が422百万円減少したこと等により、182百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が197百万円減少したことにより、174百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ110百万円増加し、3,176百万円となりました。これは主に、利益剰余金が85百万円増加、自己株式が13百万円減少、その他有価証券評価差額金が12百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和7年11月14日の「令和7年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,308,567	1,307,501
受取手形、売掛金及び契約資産	1,328,279	1,076,310
電子記録債権	1,129,651	1,331,805
商品及び製品	881,902	776,839
仕掛品	199,618	249,926
原材料及び貯蔵品	271,098	241,032
その他	204,035	106,918
貸倒引当金	△547	△484
流動資産合計	5,322,606	5,089,850
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,638,743	1,580,895
土地	1,413,808	1,413,808
その他（純額）	565,473	561,567
有形固定資産合計	3,618,024	3,556,270
無形固定資産		
その他	59,071	54,412
無形固定資産合計	59,071	54,412
投資その他の資産		
その他	780,483	833,838
貸倒引当金	△860	△860
投資その他の資産合計	779,622	832,977
固定資産合計	4,456,719	4,443,661
資産合計	9,779,325	9,533,511
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	584,434	608,453
電子記録債務	919,619	473,530
短期借入金	1,780,000	2,035,000
1年内返済予定の長期借入金	272,858	272,858
未払法人税等	82,819	37,352
製品保証引当金	20,108	21,095
賞与引当金	180,347	202,760
役員賞与引当金	8,930	6,100
その他	316,162	325,838
流動負債合計	4,165,280	3,982,989
固定負債		
長期借入金	1,765,210	1,567,974
役員退職慰労引当金	318,200	334,000
退職給付に係る負債	411,034	405,006
その他	53,290	66,712
固定負債合計	2,547,734	2,373,692
負債合計	6,713,015	6,356,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,958,936	2,044,400
自己株式	△86,433	△72,757
株主資本合計	2,984,678	3,083,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,747	42,487
退職給付に係る調整累計額	51,884	50,524
その他の包括利益累計額合計	81,631	93,011
純資産合計	3,066,309	3,176,830
負債純資産合計	9,779,325	9,533,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	7,109,987	7,534,324
売上原価	4,822,449	5,134,426
売上総利益	2,287,537	2,399,897
販売費及び一般管理費	2,065,243	2,142,045
営業利益	222,294	257,852
営業外収益		
受取利息	539	1,127
受取配当金	338	404
受取保険金	449	5,927
補助金収入	26,201	21,480
その他	5,304	5,636
営業外収益合計	32,833	34,576
営業外費用		
支払利息	31,159	39,705
為替差損	1,222	4,050
支払手数料	4,278	24,295
その他	2,268	4,251
営業外費用合計	38,928	72,303
経常利益	216,199	220,125
特別利益		
固定資産売却益	727	—
投資有価証券売却益	—	361
特別利益合計	727	361
税金等調整前四半期純利益	216,926	220,487
法人税、住民税及び事業税	86,964	74,600
法人税等調整額	△19,834	6,513
法人税等合計	67,130	81,113
四半期純利益	149,796	139,373
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,796	139,373

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	149,796	139,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,009	12,739
退職給付に係る調整額	6,542	△1,359
その他の包括利益合計	11,552	11,380
四半期包括利益	161,348	150,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,348	150,754
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	137,924千円	144,444千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,449,826	354,896	844,353	436,193	3,085,269
商品	3,582,101	162,282	17,039	111,736	3,873,160
その他	51,856	37,736	24,529	37,435	151,558
顧客との契約から生じる収益	5,083,784	554,915	885,921	585,365	7,109,987
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,083,784	554,915	885,921	585,365	7,109,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,083,784	554,915	885,921	585,365	7,109,987
セグメント利益又は損失(△)	△48,968	11,911	169,981	81,732	214,657

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	214,657
セグメント間取引消去	7,636
四半期連結損益計算書の営業利益	222,294

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,410,544	377,994	1,240,443	455,772	3,484,756
商品	3,634,245	150,031	12,537	99,671	3,896,486
その他	54,950	34,394	21,326	42,410	153,082
顧客との契約から生じる収益	5,099,740	562,421	1,274,307	597,855	7,534,324
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,099,740	562,421	1,274,307	597,855	7,534,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	1,623	1,623
計	5,099,740	562,421	1,274,307	599,478	7,535,947
セグメント利益又は損失（△）	△81,498	5,546	262,862	54,252	241,162

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	241,162
セグメント間取引消去	16,690
四半期連結損益計算書の営業利益	257,852